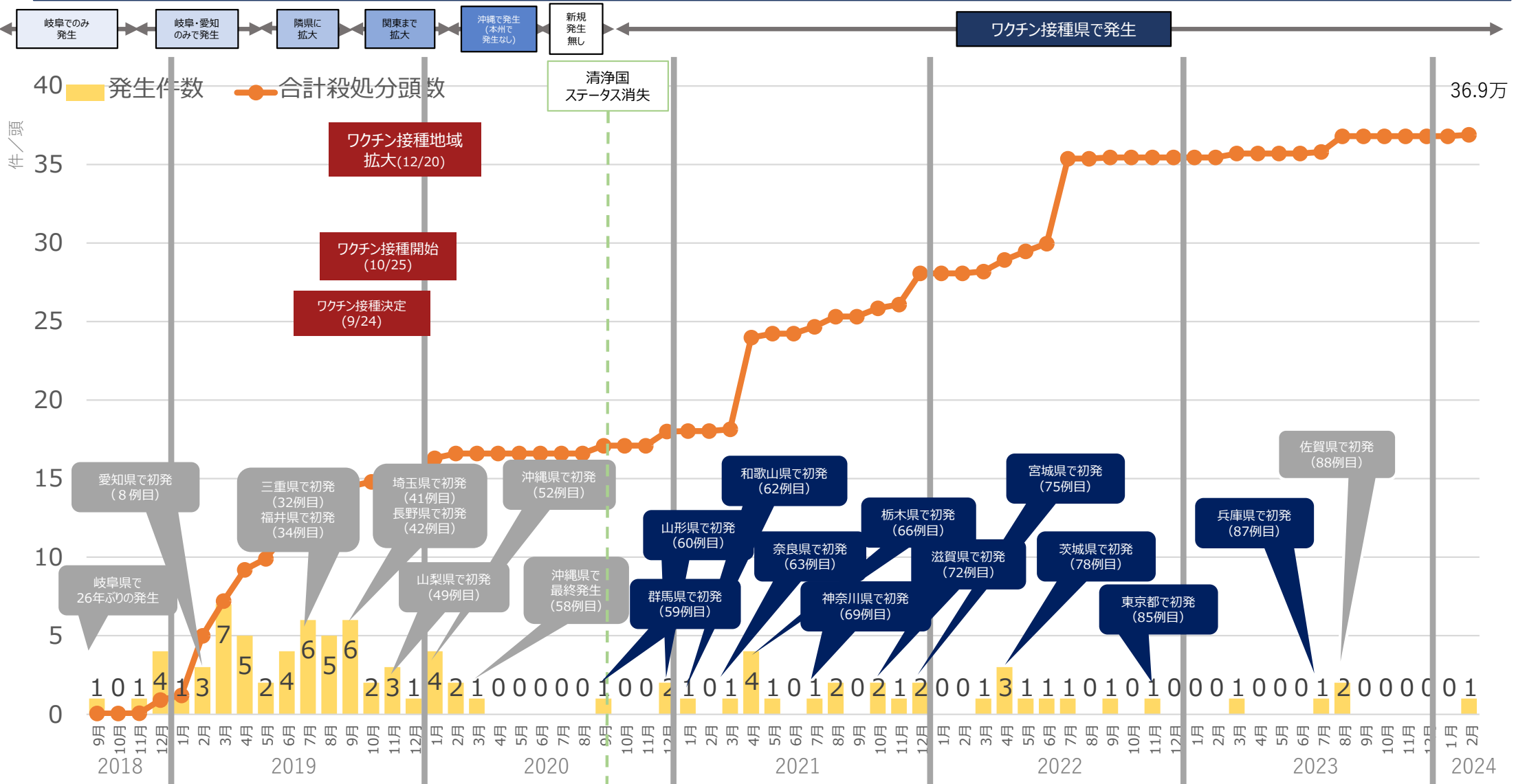


- 2018年9月9日の岐阜県での発生以来、愛知県、三重県、福井県、埼玉県、長野県、山梨県、沖縄県、群馬県、山形県、和歌山県、奈良県、栃木県、神奈川県、滋賀県、宮城県、茨城県、東京都、兵庫県及び佐賀県の**20都県**で計**90事例**発生し、これまでに**約36.9万頭を殺処分**。
- **2019年9月24日にワクチン接種を決定**、10月15日に防疫指針を改訂、**10月25日からワクチン接種開始**。
- **2020年9月3日**にWOAH（国際獣疫事務局）が認定する**豚熱の清浄国ステータスを消失**。
- 群馬県、山形県、三重県、和歌山県、奈良県、栃木県、山梨県、神奈川県、滋賀県、宮城県、茨城県、兵庫県といった**ワクチン接種県においても発生**。



野生いのししでの豚熱対策の概要

(1) サーベイランスの強化

豚熱

アフリカ豚熱

【野生イノシシ検査情報 QRコード】

- 平成30年9月から、**全都道府県における野生イノシシのサーベイランスを開始**。
- 令和2年8月31日に**全都道府県**に向けて**豚熱・アフリカ豚熱のサーベイランスの強化通知**を発出。
- 令和3年11月、新たな遺伝子検査法の導入及び外部委託体制の整備により検査負担軽減。
- 令和4年4月、web上で生産者自ら農場周辺の検査状況を確認可能な新たな地図情報システムを提供。
- 令和5年11月、野生イノシシ死亡個体の耳片を用いた遺伝子検出検査適用により、検査可能個体が拡大。



(2) 捕獲の強化

豚熱

アフリカ豚熱

- 自治体、農林水産省及び環境省が連携し、**豚熱陽性が確認されている県及びその隣接県等46都府県に「捕獲重点エリア」の設定を依頼**。

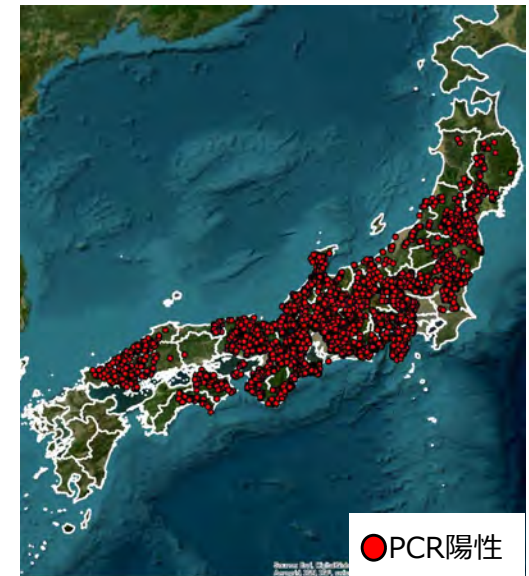
(3) 経口ワクチン散布

豚熱

- 平成31年3月、岐阜県及び愛知県において、経口ワクチン散布を開始。
- 令和3年3月から民間ヘリコプターによる空中散布を実施（静岡県・栃木県）。
- 令和5年3月に散布方法の具体化等のため散布方針を改正。
- 現在、豚熱陽性が確認されている県及びその隣接県等**39都府県**のうち、沖縄県除く**38都府県で経口ワクチンを散布**。

【35都府県で豚熱陽性野生イノシシを確認】

豚熱感染野生イノシシ発見地点
(発見・捕獲日ベース：令和6年3月6日時点)



(4) 感染防止のための周知等の推進

豚熱

アフリカ豚熱

- 山林作業業者や観光客等、山林に立ち入る者に対して、デジタルサイネージ広告の実施や多言語ポスターの提示・配布等により、周知の推進。
- 捕獲従事者に対して交差汚染対策周知のため、映像資材・漫画資材の配布。

(5) 法改正・制度的整理等の対応

豚熱

アフリカ豚熱

- **サーベイランス、経口ワクチン散布等を家伝法に位置付け**（令和3年4月施行）。
- 野生イノシシの死体処理に関する制度的整理及び関係部局の連携強化について、消費・安全局長、農村振興局長、林野庁長官、環境省環境再生・資源循環局長、環境省自然環境局長による**5局庁長連名通知の発出**（令和4年3月）。
- アフリカ豚熱の防疫措置の具体化（防疫指針改正・基本方針の策定（3月末施行予定）、防疫演習の実施等）。

野生いのししサーベイランス検査状況(令和6年3月6日時点)

直近1カ月のサーベイランス検査状況



PCR検査

- PCR陽性
- PCR陰性

0 105 210 420 km

直近6カ月のサーベイランス検査状況



PCR検査

- PCR陽性
- PCR陰性

0 105 210 420 km

野生いのししにおける豚熱の確認状況

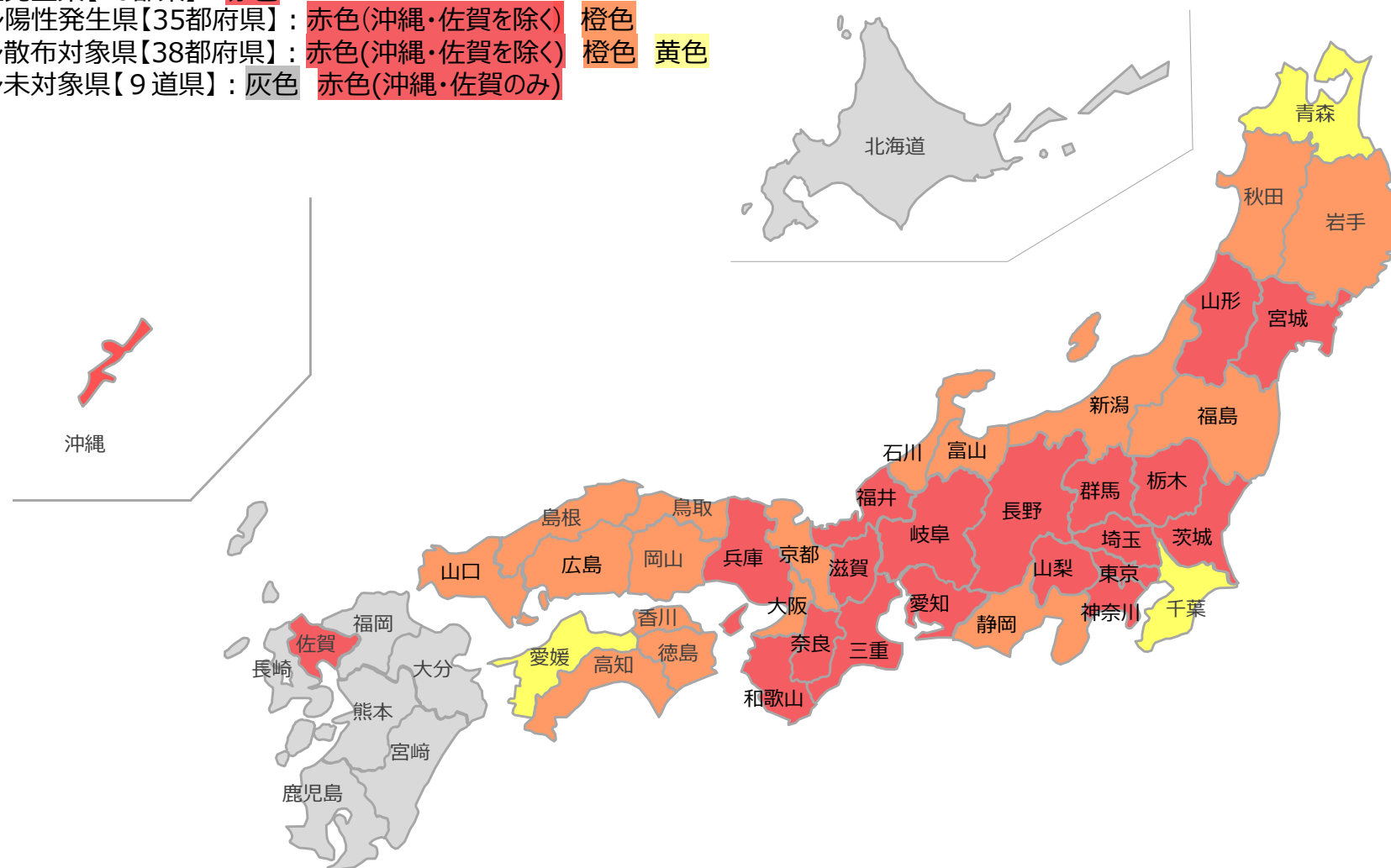
- 平成31年3月、岐阜県及び愛知県において、経口ワクチン散布を開始。
- これまでに豚熱陽性が確認されている県（沖縄県・佐賀県を除く）及びその隣接県等38都府県で経口ワクチン散布のための県協議会が設立され、散布を実施。
- 九州地域では沖縄県を除く7県が経口ワクチン散布に向けた県協議会を設立。

飼養豚陽性発生県【20都県】：赤色

野生イノシシ陽性発生県【35都府県】：赤色(沖縄・佐賀を除く) 橙色

経口ワクチン散布対象県【38都府県】：赤色(沖縄・佐賀を除く) 橙色 黄色

経口ワクチン未対象県【9道県】：灰色 赤色(沖縄・佐賀のみ)



野生いのししサーベイランス検査状況 – 豚熱 –

- 平成30年 9 月から**全都道府県における野生いのししのサーベイランスを開始**
※農水省がR3年度以降に最低限必要と通知している検査水準：1 県当たり299頭/年
- 過去1年の検査数を令和 3 年 9 月末と直近で比較すると、299頭以上に達している都道府県は17県から35県に増加

年度ごと※1の野生いのししにおける**豚熱**の検査数（カッコ内は陽性率）

■：検査数が299頭以上
■：検査数が299頭以上かつ陽性数が0

	R2.10.1～ R3.9.30	R3年度	R4年度	R5年度
北海道	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
青森	5(0%)	6(0%)	8(0%)	49(0%)
岩手	313(0%)	399(0%)	423(22.7%)	528(8%)
宮城	232(12.5%)	484(26.9%)	370(13.8%)	327(16.8%)
秋田	42(0%)	39(0%)	55(12.7%)	91(2.2%)
山形	220(7.3%)	370(32.2%)	278(4.3%)	339(10.6%)
福島	302(7.3%)	214(10.7%)	159(16.4%)	311(13.8%)
茨城	819(12.5%)	981(15.4%)	1168(8.2%)	951(6.2%)
栃木	565(9.2%)	490(17.3%)	633(6.2%)	581(2.6%)
群馬	883(7.6%)	653(4.1%)	961(3.3%)	1084(8.9%)
埼玉	447(1.8%)	538(0.6%)	762(2.9%)	864(3.8%)
千葉	65(0%)	78(0%)	278(0%)	914(0%)
東京	56(7.1%)	89(1.1%)	130(0%)	129(10.9%)
神奈川	566(6.7%)	469(8.3%)	377(10.1%)	320(2.5%)
新潟	205(15.1%)	219(4.6%)	224(3.1%)	307(5.5%)
富山	330(0.6%)	327(0%)	609(1.1%)	1112(1.7%)
石川	239(5.4%)	239(2.9%)	675(2.8%)	726(3.3%)
福井	498(15.3%)	337(13.6%)	402(2.2%)	499(9%)
山梨	187(17.6%)	143(7.7%)	209(0%)	230(1.3%)
長野	692(3.5%)	845(0.5%)	918(0.2%)	938(2.7%)
岐阜	2122(0.7%)	1991(1.3%)	2675(4.2%)	2788(7.6%)
静岡	2676(2.8%)	3003(2.2%)	3912(3.5%)	3919(2.4%)
愛知	787(0.1%)	991(0.7%)	906(3.1%)	896(2.1%)
三重	3004(10.8%)	3763(8%)	4809(3.2%)	3755(2.4%)

	R2.10.1～ R3.9.30	R3年度	R4年度	R5年度
滋賀	473(7.4%)	452(9.1%)	549(5.8%)	636(2.7%)
京都	267(32.6%)	228(33.3%)	51(13.7%)	70(0%)
大阪	25(60%)	13(84.6%)	63(0%)	80(1.3%)
兵庫	496(8.9%)	538(18.2%)	690(10.7%)	394(4.3%)
奈良	138(28.3%)	128(9.4%)	216(1.9%)	253(2%)
和歌山	387(26.6%)	307(28.3%)	306(1.3%)	484(0.2%)
鳥取	215(0%)	301(0%)	416(1.7%)	493(6.1%)
島根	130(0%)	283(0%)	410(14.9%)	484(9.7%)
岡山	49(0%)	70(0%)	540(0%)	307(0.3%)
広島	90(0%)	148(0.7%)	331(5.4%)	301(6%)
山口	8(0%)	292(2.7%)	310(17.7%)	245(11.8%)
徳島	20(0%)	99(0%)	318(8.8%)	178(11.8%)
香川	143(0%)	427(0%)	366(0.5%)	501(9.4%)
愛媛	172(0%)	300(0%)	358(0%)	386(0%)
高知	41(0%)	47(0%)	301(3.7%)	278(9%)
福岡	53(0%)	152(0%)	636(0%)	276(0%)
佐賀	23(0%)	60(0%)	349(0%)	479(0%)
長崎	45(0%)	67(0%)	315(0%)	304(0%)
熊本	61(0%)	127(0%)	304(0%)	396(0%)
大分	66(0%)	231(0%)	325(0%)	403(0%)
宮崎	56(0%)	326(0%)	316(0%)	471(0%)
鹿児島	22(0%)	151(0%)	305(0%)	385(0%)
沖縄	8(0%)	7(0%)	65(0%)	312(0%)
合計	18243(6.9%)	21422(6.5%)	28781(4.1%)	29774(4.1%)

※ 1：R3年度以前はR2年10月 1 日からの 1 年間、R3年度・R4年度は4月1日から3月31日までの 1 年間、R5年度はR5年4月1日からR6年3月6日までを集計

野生いのししサーベイランス検査状況 – アフリカ豚熱 –

○平成30年9月から**全都道府県における野生いのししのサーベイランスを開始**

※農水省がR3年度以降に最低限必要と通知している検査水準：1県当たり299頭/年

○299頭に達している都道府県は、令和2年度6県、令和3年度16県、令和4年度31県、令和5年度33県と増加

年度ごと※1の野生いのししにおける**アフリカ豚熱**の検査数 ：検査数が299頭以上

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 (～3月6日)
北海道	0	0	0	0
青森	4	6	8	49
岩手	136	399	416	528
宮城	142	484	350	327
秋田	40	39	52	91
山形	173	370	278	339
福島	195	210	49	311
茨城	586	981	1102	951
栃木	516	494	554	560
群馬	20	653	931	1084
埼玉	91	538	752	864
千葉	79	78	249	914
東京	10	3	2	7
神奈川	381	462	356	320
新潟	245	219	219	307
富山	226	261	588	1112
石川	304	239	630	726
福井	31	55	274	467
山梨	52	143	196	230
長野	39	2	914	938
岐阜	133	302	284	275
静岡	2318	3003	3702	3919
愛知	126	217	311	613
三重	43	9	4673	3755

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 (～3月6日)
滋賀	556	452	526	541
京都	25	22	51	70
大阪	9	13	63	80
兵庫	112	78	53	15
奈良	34	82	203	253
和歌山	236	307	280	484
鳥取	91	301	353	493
島根	5	283	367	484
岡山	40	70	539	307
広島	6	148	329	301
山口	4	292	308	245
徳島	20	99	311	178
香川	20	427	365	501
愛媛	72	300	344	386
高知	0	47	297	278
福岡	14	152	622	276
佐賀	13	49	348	479
長崎	41	67	306	304
熊本	58	127	297	396
大分	34	231	314	403
宮崎	59	326	315	471
鹿児島	37	151	296	385
沖縄	7	7	64	312
合計	7383	13198	23841	26329

※1：R2年度からR4年度は4月1日から3月31日までの1年間、R5年度はR5年4月1日からR6年3月6日までを集計